

令和6年度

事業計画書

自 令和6年4月1日

至 令和7年3月31日

公益財団法人 全日本空手道連盟

1. 基本方針

東京2020オリンピックは空手競技が初めてオリンピック競技として開催され、成功裏に終わったが、2024年開催のパリオリンピックで、2028年開催のロサンゼルスオリンピックでは種目入りしないことが決定されているため、昨年度立案した中長期的を着実に実行していく必要がある。「良い団体で最高のNF」をビジョンに掲げ、経営基盤の強化、ガバナンスの確立、武道スポーツ空手のブランディングなどの3つの骨組みをもとに、具体的な施策を立案し実行していく。

2. 計画

(1) 空手道の普及奨励

空手道を愛好し、また空手道の素晴らしさを理解してくれる人を多く求めるために、都道府県連盟を中心とした各地区協議会・競技団体及び協力団体との密接な連携により、充実した内容のある競技会、審査会並びに研修会を実施し、地域社会に役立つ活気ある本連盟の構築を目指す。各事業の中心になっている日本空手道会館を有効に生かし未来への継続を確かなものにしていく。

(2) 空手道の指導者の養成

武道とスポーツ両面から、優れた指導者の育成と資質の向上を図るため、資格取得審査会及び研修会等を開催し、さらにはその活用と活動の促進を図る。

(3) 空手道に関する調査および研究

空手道の歴史・伝統・文化に関する調査・研究を行い、資料として全日本空手道連盟に保存していく。

(4) 大会および講習会等の開催

生涯空手道の普及を目指し、各種大会を実施する。また、空手道の技術と伝統を継承するための形講習会や、審判技術の向上などを図る講習会など、各種講習会も実施していく。広く公認指導者の育成ならびに質的向上に努める国内及び世界の競技会において厳正にして正確な判定のできる高い技術と権威ある審判員を育成するための講習会・審査会を開催し、空手は一つ・ルールは一つというスローガンのもとにWKFルール改正に対応していく。

(5) 空手道の段位の授与

空手道の伝統技術の継承のために、級位・段位の授与を行う。また、空手道の普及発展に顕著な功績のあった者に対し名誉段位等を授与し、指導者として斯道に功績顕著な者に対し称号を授与する。

(6) 刊行物の発行

本連盟の事業活動に関する情報・資料を集約し、JKFホームページなどを通じて会員の広範な理解と関心の増進のための広報活動を積極的に展開する。また、機関誌「ナイスカラテライフ」を発行し、連盟の事業内容、活動の状況、加盟団体や協力団体の情報を広く一般に提供し、会員の修練や指導に役立て空手道の発展振興を推進する。さらに、別冊として中学校向け情報をまとめたものを作成し、空手道をよりやさしく、楽しく役立つ誌面となるよう心がけ、教育現場に直接に渡るように配慮し、空手道の普及振興に役立てる。

(7) その他目的を達成するため必要な事業

1) ナショナルチーム事業

ア. 選手強化事業並びに海外派遣事業

空手道母国日本として常に国際的競技力を高める為、シニアクラスはもちろん、ジュニア層の育成と強化向上を目指し、少年期から一環した強化対策を確立する。国際大会にも積極的に参加させ、試合経験を積ませる。

イ. アンチ・ドーピング推進事業（医科学関係事業）

アンチ・ドーピング機構の支援のもと、競技会並びに検査プログラムに対応できるようナショナルチーム強化選手に徹底を図り、正確な知識の習得を促進させる。

また、アンチ・ドーピング委員の中から医科学関係分野の委員を育成し、選手強化委員会とも連携し、講習会の開催並びに資格取得を推進し、強化選手を含め幅広い世代に、健康増進と指導者の専門的知識の習得を図る。

一般社団法人日本スポーツフェアネス推進機構を通じてドーピング検査を年1回行う予定である。

2) 海外交流事業

空手競技が恒久的にオリンピック種目として採用されるよう、機会がある毎に活動していく。その為にはまずアジア空手道連盟（AKF）の一員として積極的にその役割を果たし、世界の空手道の普及と振興に努める。

世界の国々で必要とされる技術の向上や組織の充実などできる限りの支援を行い、国際競技会及び講習会には積極的に招聘に応じ選手や技術者を派遣する。

3) 武道ツーリズム事業

コロナ情勢を見極めつつ、スポーツ庁の提唱する“武道ツーリズム”の取り組みを具現化していく。

3. 事業概要

(1) (公1)国内大会

開催日	大会名	開催地	開催場所	参加人員等	摘要
7/27	令和6年度全日本 少年少女武道(空手道) 錬成大会	東京都	日本武道館	参加選手 3,000名	(公財)日本武道館と 共催
8/1~4	第50回全国高等学校 空手道選手権大会	長崎	佐世保市体育文化 館	参加選手 850名	高体連と共催
8/8~10	<Karate Week> 第24回全日本少年少女 空手道選手権大会	東京都	東京武道館	参加選手 2,200名	組織経営基盤強化助 成事業
8/11	<Karate Week> 第20回全日本パラ 空手道競技大会	東京都	東京武道館	参加選手 200名	組織経営基盤強化助 成事業
8/11~12	<Karate Week> 第3回全日本 空手道体重別選手権大会	東京都	東京武道館	参加選手 470名	組織経営基盤強化助 成事業
9/21~23	日本スポーツマスターズ 2024空手道競技	長崎県	佐世保市体育文化 館	参加人数 47都道府県 延650名	(公財)日本スポーツ協会委託事業 日本スポーツ協会、長崎県、長崎 県スポーツ協会等と共催
10/12~14	第78回国民スポーツ大会 (SAGA2024国スポ) 空手道競技会	佐賀県	鳥栖市民体育館	参加人数 47都道府県 414名	佐賀県実行委員会委託事業 文部科学省、日本 スポーツ協会、佐賀県、鳥栖市と 共催
12/7	内閣総理大臣杯 第52回全日本空手道 選手権大会	東京都	東京武道館	参加選手 517名	スポーツ振興基金 助成事業
12/8	天皇杯 皇后杯 第52回全日本空手道 選手権大会	東京都	日本武道館	参加選手 140名	スポーツ振興基金 助成事業 (公財)スポーツ安全協会 助成事業
12/15	第5回空手Family演武会	東京都	日本空手道会館	50組	自主事業
1月未定	第3回全日本空手道 団体形選手権大会(予選)	未定	未定	参加選手 100名	自主事業
2/14~16	第4回全日本少年少女 空手道選抜大会	神奈川県	横浜BUNTAI	参加選手 1,300名	自主事業
2月未定	第3回全日本空手道 団体形選手権大会(決勝)	未定	未定	参加選手 15名	自主事業
3/25~27	JOCジュニアオリンピックカップ 第44回全国高等学校 空手道選抜大会	和歌山県	ビッグホエール	参加選手 1,100名	JOCジュニア オリンピックカップ 高体連と共催
3/28~30	JOCジュニアオリンピックカップ 第19回全国 中学生空手道選抜大会	京都府	亀岡運動公園体育 館	参加選手 1,128名	JOCジュニア オリンピックカップ 中学校連盟と共催

(2) (公1)ナショナルチーム事業

1) 選手強化事業

ア. シニア合宿

開催日	合 宿 名	開催場所	参加人員等	摘 要
4/12～14	第1回シニア合宿	日本空手道会館	スタッフ 18名 選 手 60名	(公財)日本オリンピック 委員会委託事業
6/14～16	第2回シニア合宿	日本空手道会館	スタッフ 18名 選 手 60名	(公財)日本オリンピック 委員会委託事業
7/13～15	第3回シニア合宿	日本空手道会館	スタッフ 18名 選 手 60名	(公財)日本オリンピック 委員会委託事業
8/17～19	形合宿	日本空手道会館	スタッフ 8名 選 手 20名	(公財)日本オリンピック 委員会委託事業
8/30～ 9/2	第4回シニア合宿	未定	スタッフ 18名 選 手 60名	(公財)日本オリンピック 委員会委託事業
10/24～ 27	第5回シニア合宿	日本空手道会館	スタッフ 18名 選 手 60名	(公財)日本オリンピック 委員会委託事業
未定(年 数回)	東日本・西日本組手 合宿	日本空手道会館	スタッフ 5名 選 手 20名	自主事業

イ. カデット・ジュニア合宿

開催日	合 宿 名	開催場所	参加人員等	摘 要
6/28～30	第1回ジュニア合宿	日本空手道会館	スタッフ 15名 選 手 50名	(公財)ミズノスポーツ 振興財団助成事業
9/13～15	第2回ジュニア合宿	日本空手道会館	スタッフ 15名 選 手 50名	(公財)日本オリンピック 委員会委託事業

2) アンチ・ドーピング推進事業

開催日	名 称	開催場所	参加人員等	摘 要
未定	アンチ・ドーピング 講習会（ジュニア）	日本空手道会館	スタッフ 15名 選手 50名	ジュニア対象、ジュニア合宿または海外遠征前開催予定
未定	アンチ・ドーピング 講習会（シニア）	日本空手道会館	スタッフ 18名 選手 60名	シニア対象、シニア合宿または海外遠征前開催予定

3) その他選手強化事業

ア. 強化選手選考会

開催日	合 宿 名	開催場所	参加人員等	摘 要
未定	2025年度 シニア選考会	日本空手道会館	スタッフ 50名 選考会参加者200名	自主事業
4/26～28	2024年度 ジュニア選考会	日本空手道会館	スタッフ 50名 選考会参加者250名	自主事業

イ. 選手の資質向上のための講習会

開催日	名 称	開催場所	参加人員等	摘 要
未定	インテグリティ講習	日本空手道会館	スタッフ 15名 選手 50名	ジュニア対象、ジュニア合宿または海外遠征前開催予定
未定	インテグリティ講習	日本空手道会館	スタッフ 18名 選手 60名	シニア対象、シニア合宿または海外遠征前開催予定

(3) (公1)研修会・講習会の開催

1) 資格審査員研修会の開催

開催日	研修会・講習会	開催場所	参加人員等	摘要
8/31	令和6年度 1・2級資格審査員研修会	日本空手道会館	講師 4名 受講者 88名	自主事業
4月～	令和6年度 3級資格審査員研修会	各地区協議会	講師 数名 受講者 複数名	自主事業 各地区協議会主管

2) 公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者(空手道)講習会等の開催

開催日	研修会・講習会	開催場所	参加人員等	摘要
4月～	令和6年度 日本スポーツ協会公認コーチ1・コーチ2更新研修会	各地区協議会内	受講者 50名～200名	各地区協議会主催
9/1	令和6年度 第1回日本スポーツ協会公認 コーチ3・コーチ4更新研修会	日本空手道会館	講師 4名 受講者 130名	自主事業
3/2	令和6年度 第2回日本スポーツ協会公認 コーチ3・コーチ4更新研修会	日本空手道会館	講師 4名 受講者 130名	自主事業
9/27-29	令和6年度 日本スポーツ協会公認コーチ3 養成専門科目講習会(前期)	日本空手道会館	講師 8名 受講者 70名	(公財)日本スポーツ 協会委託事業
1/17～19	令和6年度 日本スポーツ協会公認コーチ3 養成専門科目講習会(後期)	日本空手道会館	講師 8名 受講者 70名	(公財)日本スポーツ 協会委託事業
11/22-24	令和6年度 日本スポーツ協会公認 コーチ4養成専門科目講習会 (前期)	日本空手道会館	講師 7名 受講者 20名	(公財)日本スポーツ 協会委託事業
2/7～9	令和6年度 日本スポーツ協会公認 コーチ4養成専門科目講習会 (後期)	日本空手道会館	講師 7名 受講者 20名	(公財)日本スポーツ 協会委託事業

3) 流派別形講習会の開催

開催日	流 派	開催場所	参加人員等	摘 要
3月未定	和道流	日本空手道会館	講師（和道流）2名 受講者 100名	自主事業
3月未定	剛柔流	日本空手道会館	講師（剛柔流）2名 受講者 100名	自主事業
3月未定	松濤館流	日本空手道会館	講師（松濤館流）2名 受講者 100名	自主事業
3月未定	糸東流	日本空手道会館	講師（糸東流）2名 受講者 100名	自主事業

4) 学校武道のための指導者講習会の開催

開催日	行 事 名	開催場所	参加人員	摘 要
年20回	学校訪問プロジェクト	全国の中学校及び特別支援学校	延3,000名ほど	自主事業
5/11	第1回中学校武道授業（空手道）指導法研究事業	日本武道館 大会議室	研究者 10名 研究協力者 5名	日本武道館と共催
7月 【未定】	授業協力者養成講習会 実技指導者講習会	日本空手道会館	参加人員50名	スポーツ庁委託事業
8/20 ～8/22	第15回全国空手道 指導者研修会	日本空手道会館	講 師 12名 受講者 80名	日本武道館と共催
9月 【未定】	授業協力者養成講習会 実技指導者講習会	地方会場・未定	参加人員50名	スポーツ庁委託事業
11月 【未定】	第2回中学校武道授業（空手道）指導法研究事業	地方会場・未定	研究者 10名 研究協力者 5名	日本武道館と共催
12/21～ 12/22	学校空手道 実技指導者講習会	日本空手道会館	参加人員50名	スポーツ庁委託事業
1月 【未定】	学校空手道 実技指導者講習会	地方会場・未定	参加人員50名	スポーツ庁委託事業
2/22or 23	第2回全国学校空手道コンクール	日本空手道会館	学校武道推進員18名 参 加人員50～100名	スポーツ庁委託事業

5) 指導者の育成と競技力向上のための事業

開催年月日	行 事 名	開催場所	参加人員等	摘 要
5/18～19	全国形審判員養成講習会	日本空手道会館	講 師 5名 受講者 80名	自主事業
1/11～12	令和6年度 女性会員対象技術・審判講習会	日本空手道会館	講 師 9名 受講者（技術講習）50名 （審判講習）40名	自主事業

(4) (公1)資格審査会の開催

1) 公認段位審査会

開催日	審査会名称	会場	備考
年度内	公認4・5段位審査会	各地区協議会内 実業団・高体連内	
6/1 11/9	公認6段位審査会	日本空手道会館 エディオンアリーナ大阪	
6/2 11/10	公認7段位審査会	日本空手道会館 エディオンアリーナ大阪	
6/2	公認8段位審査会	日本空手道会館	
未定	公認9段位審査会	日本空手道会館	
12/6	推薦段位審査会 (推薦4段位～8段位)	日本空手道会館	

2) 公認審判員審査会

開催日	審査会名称	会場	備考
4/6 ～4/7 4/13 ～4/14	全国公認組手 審判員講習・審査会	(東京) 日本空手道会館 (大阪) エディオンアリーナ大阪	
7/6-7	全国公認形 審判員講習・審査会	日本空手道会館	
年度内	地区公認組手 審判員講習・審査会	各地区協議会内	各1回
年度内	地区公認形審判員 講習・審査会	各地区協議会内	各1回
年度内	全国公認組手審判員講習会	各地区協議会内	各1回
年度内	全国公認形審判員講習会	各地区協議会内	各1回

3) 公認称号審査会

開催日	審査会名称	会場	備考
12/6	公認範士審査会	日本空手道会館 会議室	
12/6	公認教士審査会	日本空手道会館 会議室	
12/6	公認錬士審査会	日本空手道会館 会議室	

(5) (公1)刊行事業

1) 「ナイスカラテライフ」の発行・配布

発行回数	年3回
発行部数	合計90,000部
配布先	会員、各都道府県連盟、地区協議会、競技団体、協力団体 武道団体、文部科学省等官公庁団体、教育委員会 全国の中学校、政令指定都市教育委員会、その他
その他	JSCスポーツくじ助成(予定)。3回のうち2回は会員向け、1回は別冊と位置づけ学校向けに配布。

(6) (公1)空手道教室事業

1) 小学生の部

練習日	毎週月曜日・木曜日	17:30～18:30
人数		25名

2) 中学生以上の部

練習日	毎週月曜日・木曜日	18:40～19:40
人数		9名

(7) (公1)海外交流

世界空手連盟（WKF）、アジア空手連盟（AKF）、及び東アジア空手道連盟（EAKF）のリーダー的役割であることを認識し、各国の諸会議に代表役員を派遣し、空手道の普遍的な発展と振興を推進する。

また、国際競技会や研修会等の事業に積極的に参加して、国際親善を通じて、人類の平和と繁栄のための空手道の確立に寄与し、世界の空手道の主導的中心的な立場を自覚して、空手道の正確で高い技術の修得と普及のため、海外の競技会及び研修会に選手・役員並びに技術指導者を積極的に派遣する。

恒久的に空手道がオリンピック種目になるために、WKF及びAKFの強い連携を促すものとなり、国際オリンピック委員会（IOC）及び日本オリンピック委員会（JOC）の厚い信頼関係と協力をもとにこれからも積極的に促進運動を行ない、実現に向けて最大の努力をするとともに、わが国の空手道が正統かつ伝統的技術をもって世界の空手道の発展に協力し、空手道が競技化の方向を主体として推進する中で、空手道のもつ精神の意義を自らの姿勢で主張し、武道性を失わないよう理解を求めていく。

いまや世界200に近い国と地域に普及・発展を遂げた空手道であるが、これからも海外からの招聘に誠意を持って派遣し、もって国際親善に寄与するものとする。そのため、必要に応じて適材な指導者を派遣できる体制を整備する。

(8) (公1)海外派遣

1) 国際大会へのナショナルチーム派遣

開催年月日	大会名	開催地	開催場所	参加人員等	摘要
5/31～6/2	プレミアリーグ2024	モロッコ	カサブランカ	日本選手団32名	世界空手連盟/ (公財)日本オリンピック委員会委託事業
8/23～25	第22回アジアカデット、ジュニア&U21選手権大会	フィリピン	マニラ	日本選手団44名	アジア空手連盟/ (公財)日本オリンピック委員会委託事業
9/20～22	第20回アジア選手権大会	中国	杭州	日本選手団37名	アジア空手連盟/ (公財)日本オリンピック委員会委託事業
10/9～13	第13回世界ジュニア、カデット&U21選手権大会	イタリア	ベニス	日本選手団44名	世界空手連盟/ (公財)日本オリンピック委員会委託事業
11/22-24	第1回世界団体選手権	スペイン	パンプローナ	日本選手団32名	世界空手連盟/ (公財)日本オリンピック委員会委託事業
2025年1月	プレミアリーグ2025	未定	未定	日本選手団32名	世界空手連盟/ (公財)日本オリンピック委員会委託事業
2025年3月	プレミアリーグ2025 またはシリーズA2025	未定	未定	日本選手団32名	世界空手連盟/ (公財)日本オリンピック委員会委託事業
未定	第11回東アジア選手権大会	中国	未定	日本選手団23名	東アジア空手連盟/ (公財)日本オリンピック委員会委託事業

(9) (収1)収益事業

1) 頒布品

以下の物品の頒布を行う。

公認審判員ワイシャツ

公認審判員ズボン

JKFネクタイ

公認審判員ブレザー

公認審判員シューズ

JKFジャージ

空手競技規定

空手道教範

空手道形教範(基本形、第一指定形、第二指定形)

DVD・Blue-ray(基本形、第一指定形、第二指定形)

JKFバッジ

JKFエンブレム

空手道手帳

4・5段者用バッジ

高段者用バッジ

級位免状

2) 日本空手道会館貸館・空手マット貸出

希望する団体へ、日本空手道会館の会議室、大・中道場、空手マットの貸し出しを行う。

3) 検定監修事業

空手マット、シンガード、インステップガード、拳サポーター、メンホー、帯、ブレザーの検定監修を行う。

(10) (他1)その他実施する事業

1) カップの寄贈

全日本少年少女武道錬成(空手道)大会
各地区協議会少年少女空手道選手権大会
全国高等学校総合体育大会(空手道)
全日本学生空手道選手権大会
全日本実業団空手道選手権大会
全国高等学校空手道選抜大会

2) 調査研究事業

空手道の歴史・伝統・文化に関する調査・研究を行い、資料として全日本空手道連盟に保存していく。

3) アスリート・指導者支援事業

空手道の健全な発達とその普及をはかり、もって国民の心身の錬成に寄与するため、「アスリート・指導者セカンドキャリア助成金」支援プログラムを設け、世界にはばたく優秀な人材の活動を支援し、よりよい活動環境の形成に寄与する。